



会長 菅原 慶一
幹事 小野寺 伸浩
会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男
例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2686回例会 2019. 3. 28 No.35

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 3月も終わりです。4月1日発表の新元号は何になるんでしょう？ 後藤和人会員のスピーチに期待します。
- ・阿部泰彦会員 東北風土マラソン&フェスティバル6,800人のランナーが無事に走り、登米市も大いに盛り上がりました。ご協力ありがとうございました。後藤和人会員のスピーチに期待して！
- ・後藤和人会員 本日のスピーチ担当です。よろしくお願ひします。
- ・布施孝之会員 東北風土マラソン関係者の皆さんご苦労さまでした。平成最後のスピーチに期待。
- ・村上武彦会員 本日のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 後藤和人会員の初のスピーチ、楽しみに聞きますよ。
- ・江川元徳会員 いわゆるOlympicの精神はFair（公平）、四つのテストの第2。日本Olympic会長の辞任は残念です。
- ・八谷郁夫会員 後藤和人会員の初スピーチ楽しみにしております。
- ・菅野幸一郎会員 初の後藤和人会員のスピーチにご期待します。河北美術展の招待券ありますので、ほしい方は声を掛けて下さい。
- ・高田次雄会員 テレビ等で賑やかな花便り、雪国でも心が暖くなる思いです。本日のスピーチ、後藤和人会員勉強させて下さい。
- ・菅原文之会員 後藤和人会員の初スピーチに期待して。鈴木彦太会員の近況。昨日石巻のリハビリステーションから豊里のスマイルに移ったそうです。近くなので何かと便利になりました。そのうち様子を見て、顔を見に行ってください。
- ・加藤亮会員 後藤和人会員のスピーチにご期待しております。

- ・伊藤幸子会員 本日のスピーチ楽しみです。これからは毎日が春一番の風いやすです。花粉が早くなくなればいいですネ。
- ・小野寺伸浩幹事以下 本日のスピーチに期待して。
 佐々木崇会員 千葉吉男会員 氏家良典会員
 山田直志会員 佐竹孝行会員 遠藤光則会員
 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 布施孝尚会員 山田正会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 及川昭宏会員
 太田陽平会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
 千葉正宏会員 二階堂恭子会員 及川長五郎会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原慶一会長

先週は「クリーンアップ湖沼群in長沼」がありました。ご参加いただいた32名の会員及びご家族の皆様、そして山田直志環境保全委員長、委員の皆さん、誠にありがとうございました。落ちていたゴミはあまりなかったようですが、登米市を代表する湖沼群の自然にふれる大変よい機会として、今後も継続していきたいと思ひます。

湖沼群といえば水ですが、今月は「水と衛生月間」です。私は職業柄「水と衛生」に関しては日頃から目にし、また関心を持たざるを得ないのですが、正直あまり注意を払っていないのが現状です。しかし、水のありがたみを考えた時に思うのは、東日本大震災の時、私は数日朝から晩まで公民館などで給水車のわきで水を貰いに来る人たちに、持ってきたポリタンク等に給水する係をやっておりました。長い行列をつくり待っている人たちの表情、水を一杯にしたタンクを持って満足した表情、まさに水のありがたみを感じる時でした。寒さのため水を出すコックが凍ったりしている中でも、待っている人がいるからと係りの人たちが真剣でした。あの状況がまさに水のありがたさなのだろうと思ひます。日頃何気なく使っている水というものに感謝し、私の場合だとそれに関連して生業にで

きていることに感謝すべきだと思ひました。

来月4月20日～21日に開催される地区大会、26名の参加です。当日はバスが出ます。例年のように楽しく行って参りましょう。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・米山梅吉記念館より
 1. 館報 2019年春号が届く
 2. 春季例祭の案内
 - 日時 4月20日(土) 14:00～
 - 場所 米山梅吉記念館
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く
- ・例会終了後 次年度理事による会議を持ちます

各委員会報告

- ・親睦活動委員会（加藤亮委員長）
 「お花見移動合同例会」についてFAXにてご案内しております。多くのご参加をお待ちしています。
 尚、余目RCとの親善ゴルフ大会は、翌日地区大会のゴルフ大会等があるため、今年は開催いたしません。準備の都合上、出席の連絡は4月4日までとします。

今週のスピーチ

後藤和人会員

本日、初スピーカーを務めさせていただきます。昨年8月に佐沼RCに入会させていただいてから、まだ7ヶ月しか経っておりませんので、はじめに自己紹介をさせていただきたいと思ひます。

仙北信用組合に勤務しております。昭和50年生まれの44歳です。栗原市栗駒に住んでおり、片道約50分かけて通勤しております。妻、子供3人、両親、祖母の8人家族です。学生時代から野球をやっておりましたので、今でも野球をしたり本を見たりするのが趣味ですが、最近では中学3年生の息子が相撲をしているので、大会の応援などが中心となっているという状況です。

息子は小学生の時から相撲をやっており、栗駒中学校の相撲部に入りました。中学校入学当時の体重は60kgで、あまり大きい方ではなかったのですが、監督の先生から「体を大きくしないと全国で通用しない」と言われ体重を増やすことに取り組みました。食事は朝・昼・夕・夜と一日4食で、夕飯は米3合を毎日食べさせました。その結果、今は体重が120kgになり3年間で2倍になりました。身長は177cmです。体重が増えたおかげで昨年、全国の中学相撲大会でベスト8に入ることが出来ました。4月から小牛田農林高校の相撲部に入ることになりました。どこかで見る機会がありましたら、応援していただきたいと思ひます。

スピーチの本題に入りたいと思ひます。皆様のお手元に「金融界の平成30年史」という年表を配布させていただきました。平成の時代があと1ヶ月で終わり、新しい元号に変わる時期でありましたので、平成の金融業界の主な出来事についてお話をさせていただきたいと思ひます。

平成に入り、日本経済は昭和61年から始まったと言われるバブル経済でありました。昭和60年のプラザ合意をきっかけとして政府がとった経済政策であり、内

需拡大や金融緩和、大幅減税等によって企業の利益や個人所得が増加しました。その利益や所得が株式や不動産投資に向いていき、投資が非常に加熱したことによって資産が実質の価値を超える程に高騰し、バブル経済となりました。そして平成元年12月には平均株価が市場最高値38,957円を記録しました。

この加熱したバブル経済を抑制するための金融引き締め策として平成元年日銀が公定歩合を下げたこと、大蔵省が金融機関に対して土地開発融資に総量規制を行ったこと等から、急激に景気が後退しバブル崩壊につながっていきます。バブル崩壊によって平均株価は平成2年10月に一時2万円を割って半値近い水準まで暴落しました。バブル経済崩壊により金融機関は多額の不良債権をかかえることとなりました。その額は約50兆円ともいわれております。この不良債権により金融機関の経営は大幅に悪化しました。

平成7年8月、兵庫銀行が戦後初の銀行破綻し、その後金融機関があいついでいきました。平成12年に金融庁が発足しました。13年の住友銀行とさくら銀行の合併による三井住友銀行の誕生、14年の三和銀行と東海銀行の合併によるUFJ銀行の誕生など合併による再編時代となりました。この様に、金融再生プログラムが始動し、不良債権処理が本格化してきました。

以上がバブル期からバブル崩壊後の金融業界についてであります。

その後の世界的に大きい出来事であったのが、リーマンショックです。平成20年9月15日にアメリカの大手投資銀行であるリーマン・ブラザーズが経営破綻し、それに端を発し世界的な株価暴落、金融危機に至ったものであります。

— 紙面の都合上、リーマンショックについて、世界的超低金利時代、貯蓄から資産形成へ、デジタルバンキング台頭については割愛させていただきます。



初スピーチをする後藤和人会員



クリーンキャンペーンで清掃する会員